

平湯川砂防樹林帯第4号帯工(その2)工事における安全対策について

工事名 平湯川砂防樹林帯第4号帯工(その2)工事
会社名 中越興業株式会社
工期 平成18年9月13日
～平成19年3月15日
○現場代理人 境 宣人
監理技術者 出口 康則



1) はじめに

本工事は、自然に恵まれた神通川水系平湯川において現場内で発生する自然石を採取し、それを帯工・護床工の表面に利用し、景観に配慮した河川整備を目的とする工事です。

本工事により、地域住民及び観光客の皆様方の生命財産を自然災害から守る為の整備効果が期待できます。

本工事では、現場に合った安全対策を実施し、作業員が安心して作業が出来るように心掛けました。

施工箇所位置図



2) 工事概要

帯工土工	:	掘削	1,600m ³	埋戻	470m ³
護床工土工	:	掘削	1,340m ³	埋戻	70m ³
第4号帯工	:	新粗石コンクリート	523m ³		
		コンクリート	160m ³		
護床工	:	コンクリート	601m ³	巨石据付	472m ²
地獄平護岸工	:	コンクリート	752m ³		

3) 安全対策について

① 現場内作業での安全対策

本工事の第4号帯工において、堤底部に新粗石コンクリート（523m³）の施工を行いました。施工計画の段階から鋼製鉄板型枠の建て込み作業時に鉄板が倒れる危険が想定されたので、安全リスク評価を高く設定し、安全対策として鉄板設置勾配に合わせた台座定規を製作・使用して作業を行いました。

その結果、安全に作業を進めることが出来、無事、新粗石コンクリートの施工が完了しました。

鋼製鉄板型枠倒れ防止台座定規



鋼製鉄板型枠建て込み状況



鋼製鉄板型枠建て込み完了



粗石投入完了



② 現場内施設での安全対策（伐採材・間伐材の有効利用）

本工事現場は樹林帯であり樹木の伐採が必要となりましたが、樹木の伐採は必要最小限となるよう努力しました。

現場内においては伐採材の有効利用を検討し、自然景観にマッチした安全施設の設置に心掛けました。

伐採した樹木



木杭作成



このように伐採した樹木は小間切断し、先端を加工し、木杭を作成しました。この木杭を利用して工事用道路の転落防止柵を施工しました。

工事用道路の転落防止柵設置



安全垂幕取付け



伐採材・間伐材による工事用道路の転落防止柵を設置した結果、視認性が向上し、作業員や運転手の安心感も得られたと思います。

また、木製の為、釘の打てるところが長所で、安全看板の取付けが容易に出来ました。

裏面は作業現場からよく見えるので、大きめの安全垂幕を取付け、作業員の安全に対する安全意識の高揚に貢献したのではないかと考えられます。

当現場は寒冷地の為、風が強く雪が横なぐりに降り激しい寒さを感じます。その為、寒さを和らげるよう、現場事務所及び作業員休憩所を一体として間伐材により囲いをしました。採光をとる窓を設け、屋根には透明な波板を張り、雪が積もらないようにしました。

現場事務所周りの囲い



仮設トイレ周りの囲い



作業ヤードのバリケード（安全法肩の明示等）及び工事安全看板等にも間伐材を使用しました。バリケードは移動が容易なので、危ないと思った箇所には即座に使用でき重宝しました。看板は積雪対策用に1m程度嵩上げて設置し、視認しやすくしました。

バリケード



工事看板



安全看板



4) おわりに

本工事は現在も施工中です。今のところ幸いにも積雪が少なく仕事がしやすい環境ではありますが、厳しい寒さの中、作業現場も凍結して滑りやすい状態です。

残りの工期も、現場職員・作業員が心を一つにして安心・安全に作業のできる現場環境を築きながら、無事故・無災害での施工をし、そして、この工事に携わった人みんなが「よかった」と思えるように、頑張っって工事完成に向かいます。